

令和3年度 自己評価結果公表シート 日知屋幼稚園

1.幼稚園の教育目標

- 幼稚園の目標：子どもの自立と共生の心を育む
- 子どもの自立を促すために：「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める

2.本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1.遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動をする教育の充実に努める。
- 2.規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実に努める。
- 3.幼児の家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。
- 4.安心して安全な幼稚園を保证するための取り組みに努める。
- 5.幼稚園と小学校との連携を推進する
- 6.地域交流、異世代交流、国際交流等豊かな体験活動の充実に努める。

3.評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
1.教育活動の充実	A	子どもたちの発育や成長の様子をとらえながら、制作活動や、園外活動を中心に活動への達成感、周囲への感謝や協力する意欲、姿勢作りを意識して取り組んだ。
2.道徳指導等の充実	A	子どもたち同士で起きている様々なトラブルや困りごとを通し、相手への思いやりや自分が感じたことを発信、意思表示することを意識、習慣づけられるような言葉かけなどをした。
3.基本的な生活習慣	A	基本的な生活習慣を理解し、一つひとつ丁寧に行動するよう呼びかけた。食事や衣服の着脱等、毎日繰り返すことの重要性を伝えてきた。園生活のみならず家庭やその他の場面でも応用して習慣化、継続して欲しい。
4.安心して安全な幼稚園	A	避難、防犯訓練を月1回実施する中で、日頃の集団生活での取り組みの大切さや、有事の際に活かせるための心がけと遊具の使い方、園での過ごし方など確認した。また、感染症拡大予防の環境づくりに取り組んだ。
5.小学校との連携	B	今年度についても従来通りの交流が実施されなかった。限られた環境ではあるが、幼保小中を含めた保護者の方、地域の方々との連携を充実したり、特別支援の面も含め、さらに共通理解を図っていきたい。
6.豊かな交流体験の充実	B	昨今の状況により、未就園児交流などが難しかった中、個別での対応、受け入れを行いながら実施してきたが、本来通りの交流の充実は図れなかった。

4.幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
A	今年度より「年中・年長児」、「年少・未満児」と合同クラスでの保育が始まった。保育内容については、あえて同じ内容で取り組むなど、試行錯誤しながらそれぞれの学年の育ちや発達を尊重することを意識した。各学年の仲間意識の芽生えや他学年児への関わりも多くみることができ、子ども同士の関係性の“あたたかさ”を感じることができた。また、年間を通して、新型コロナウイルスの影響で行事予定の変更や分散・振替を余儀なくされたが、柔軟に対応し取り組むことができた。
※項目 3.4 の評価結果の表示方法 A: 十分達成されている B: 達成されている C: 取り組まれているが成果が十分でない D: 取組が不十分である	

5.今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
1.教育活動の充実	教育理念の理解、確認と共に保育、生活に反映できるよう、また、取り組みの意味やねらいなどを明確に発信できるように努める。
2.道徳指導等の充実	日頃の気付きや関り、思いやりなどを大切にしている心情や行動が反映できるように働きかける。
3.基本的な生活習慣	基本的な生活習慣の指導の意識を高め、実行できるよう働きかけを工夫する。
4.安心して安全な幼稚園	定期的な安全点検、避難訓練の計画と共に日々の周囲の様子観察を意識し環境づくりに努める。
5.小学校との連携	それぞれの現状を捉えながら、幼保小中の連絡会等での共通理解を深めていきたい。
6.豊かな交流体験の充実	限られた環境の中ではあるが、園内の園児同士の交流を深めたり、様々な世代や地域の方々の存在や活動を認識したり親しみをもちながら働きかける。

6.特記事項

学校関係者の評価	特に指摘する事項はなく、妥当だと認められる。
----------	------------------------